

豊洲三丁目熱供給施設

建物諸元(2016年12月現在)

所在	江東区豊洲 3-1-1
主用途	熱供給設備
敷地面積	3,836 m ²
延床面積	—
階数	地下2階
竣工年月	2006年2月
事業者・所有者	豊洲エネルギーサービス株式会社
設計会社	新菱冷熱工業(株)
施工会社	新菱冷熱工業(株)
管理会社	東京ビジネスサービス株式会社
URL	—
テナント数	熱供給施設の為、テナントはなし

主な評価項目

I 一般管理事項

毎月、CO₂削減推進会議を開催し、省エネルギーに対する協議・計画・実施・検討を行う。

II 建物、設備性能に関する事項

高効率熱源、高効率コージェネレーションを導入。

III 運用に関する事項

当事業所は熱供給施設である為、CO₂排出量の増減は需要家の冷温熱販売量に大きく影響されるが、様々な冷温熱源機器の運用によるCO₂排出量の低減に積極的に取り組んでいる。

事業所の概要

当社はIHIのグループ会社で豊洲において環境に優しく省エネルギー性の優れた天然ガスコージェネレーション活用型地域熱供給施設を運用電力、および冷温熱を需要家に供給している

主要機器として・ガスタービン発電機

・排熱利用ボイラー、・炉筒及び還流ボイラー、

・吸収式冷凍機 ・スクルー冷凍機

・氷蓄熱設備・水蓄熱設備を設置している

事業所における環境負荷低減の取組

・コージェネレーションシステムの導入

ガスタービン発電機で需要家に電力を供給し

排熱を冷温熱原に利用しCO₂排出量の削減に

取り組んでいる。

・リアルタイム監視によるエネルギー管理

1 エネルギー使用状況の把握

毎月、各データを集計・整理し各機器の効率と原単位を確認し各所員に現況を周知させる。

2 温暖化対策の進行状況の把握

毎月、対策の進行状況を各所員に知らせ、継続的に温暖化対策に対する意識の向上を図る一方、

常に改善を心掛けるよう呼びかける。

事業所外観写真



取組のイメージ図

